

もっと知りたい、カラダのこと

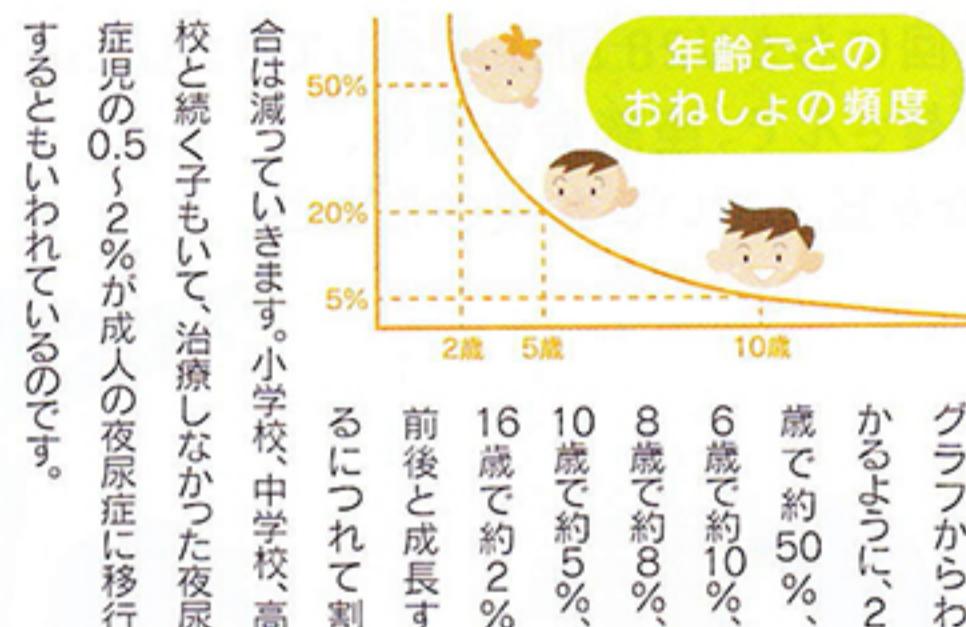
# 教えてDr



どんなに忙しくても自分のカラダについて、そして家族の健康に関心を持っておくのは大切です。

このページは医療や健康に関する情報をその道の専門家にわかりやすく教えてもらうコーナー。

女性として、母として知っておきたい基礎知識をおさえておきましょう。



夜尿症は、決して親のしつけが悪いわけではなく、まして子どもに非があるわけでもありません。

医学的に対処すべきという考え方が高いものではありますが、治療で改善が望める「一種の病気」とどうえ、対処したほうがよいと考えられています。

幼児の夜尿を「おねしょ」、5~6歳以降の夜尿を「夜尿症」と呼び、最近では「夜尿症」をひとつ病気とどうえ、対処をしています。また、発達障害やてんかんなど

弱い「膀胱型」、両方の特徴をあわせ持つ「混合型」に分類されます。そのうち乳幼児の夜尿は身体機能が発達しきれていないのが原因ですから、とくに心配は要りません。5~6歳になると膀胱の容量も増え、おしつこの間隔も長くなり、夜尿はなくなっています。

幼児の夜尿を「おねしょ」、5~6歳以降の夜尿を「夜尿症」と呼び、最近では「夜尿症」をひとつ病気とどうえ、対処をしています。また、発達障害やてんかんなど

弱い「膀胱型」、両方の特徴をあわせ持つ「混合型」に分類されます。そのうち乳幼児の夜尿は身体機能が発達しきれていないのが原因だから、とくに心配は要りません。5~6歳になると膀胱の容量も増え、おしつこの間隔も長くなり、夜尿はなくなっています。

幼児の夜尿を「おねしょ」、5~6歳以降の夜尿を「夜尿症」と呼び、最近では「夜尿症」をひとつ病気とどうえ、対処をしています。また、発達障害やてんかんなど

弱い「膀胱型」、両方の特徴をあわせ持つ「混合型」に分類されます。そのうち乳幼児の夜尿は身体機能が発達しきれていないのが原因だから、とくに心配は要りません。5~6歳になると膀胱の容量も増え、おしつこの間隔も長くなり、夜尿はなくなっています。

幼児の夜尿を「おねしょ」、5~6歳以降の夜尿を「夜尿症」と呼び、最近では「夜尿症」をひとつ病気とどうえ、対処をしています。また、発達障害やてんかんなど

## 01 夜尿は病気?



## 02 夜尿症のタイプ



今月のテーマは

## 夜尿について

アドバイスいただいたのは…

まつながキッズクリニック

院長 松永 明先生

山形市西田2-2-10 TEL023-687-0225

<http://santa-kids.jp/>

とはいきません。小学校低学年で週に1回や月に数回程度であれば、様子をみていいでしょう。ただ、6歳以降で継続的に(毎晩、あるいはひと晩に2回以上)夜尿がある場合には、受診する日安と考えてよいと思います。

集団生活を行う年齢になると、学校や日常生活で困ることもあるため、修学旅行や宿泊を伴う行事の直前になつては数年かかることがあります。両親たり、トイレの場所や形状などに怖さを感じていた症例もありました。両親のどちらかに夜尿症がある場合に、子どもが夜尿症であることがやや多いようです。また、発達障害やてんかんなどが原因となつている例も、便秘があると膀胱にためられる量が少なくなるため、夜尿症のリスクとなつていることがあります。また、発達障害やてんかんなどが原因となつている例も、便秘があると膀胱にためられる量が少くなるため、夜尿症のリスクとなつていることがあります。また、発達障害やてんかんなど

が原因となつている例も、便秘があると膀胱にためられる量が少くなるため、夜尿症のリスクとなつていることがあります。また、発達障害やてんかんなど



★おこさない：寝ているのを起こして眠りを乱すのは逆効果

★あせらない：大きくなれば自然になくなる、と大らかに見守つて

★おこらない：劣等感が強くなり、本人の不安も増すばかりです

★子どものプライドを傷つけない：心の負担を軽くしてあげましょう



## 03 受診の目安



からだの成長は個人差によるところもあるからといって、すぐに治療が必要大きな小学生になつてからも夜尿があるからといって、すぐに治療が必要